

令和2年8月7日

東京都の COVID-19 新規感染者数増加に伴う透析施設での感染対策の徹底について(お願い)

日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会

新型コロナウイルス感染対合同委員会

委員長 菊地 勤

副委員長 山川 智之

副委員長 竜崎 崇和

副委員長 南学 正臣

平素より当会の運営にご協力いただきありがとうございます。

東京都での急速な COVID-19 新規感染者の増加に伴い、東京都の透析患者における新規感染者数も急速に増加しております(図)。以下の感染対策の徹底をよろしくお願いいたします。

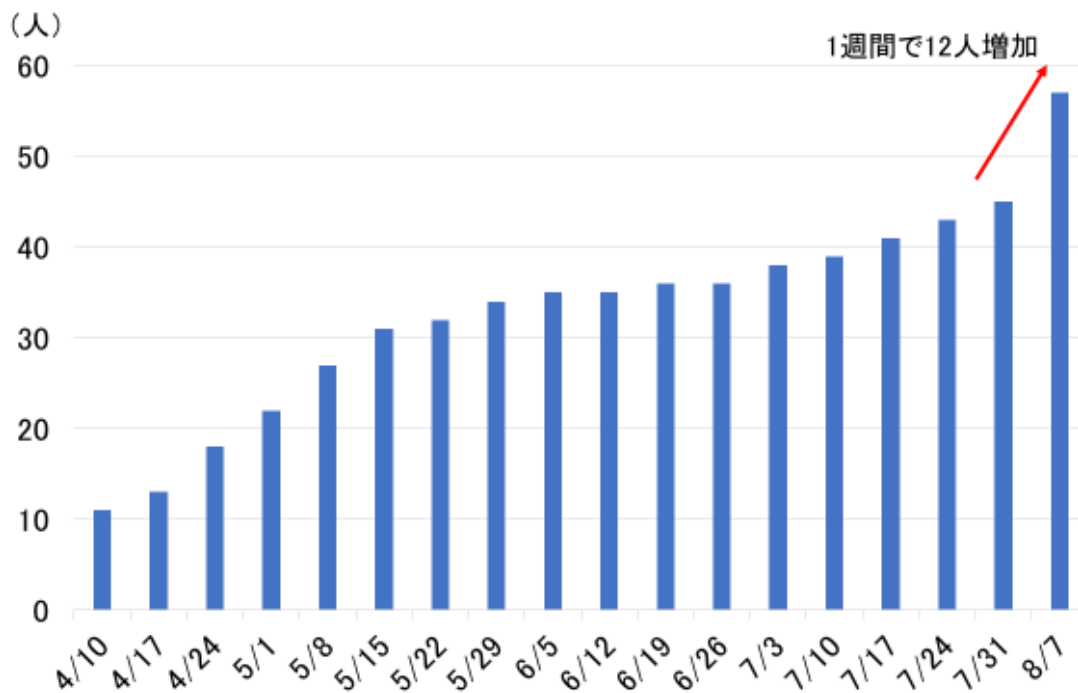


図 東京都の透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数

患者教育の徹底

患者には、毎日の体温測定と健康状態の把握を指示します。発熱や咳、嘔吐や下痢などの症状がある場合は、来院前に透析施設に必ず電話連絡するように指導してください。また、常時マスクを着用することなどの協力を依頼する必要があります。いまだに緊急事態宣言は発出されておませんが、不要不急の外出や旅行は控えるようお願いしてください。

なお、令和2年4月10日に日本透析医会作成の「帰省や旅行など都道府県をまたいだ移動自粛のお願いと透析施設における注意点」を参照ください。^{引用 URL1)}

COVID-19 疑い患者への感染対策の徹底

COVID-19 が疑われ抗原検査や PCR 検査の対象となった場合でも、検査結果の報告までに数日かかる地域があります。COVID-19 疑い患者においても、結果報告があるまでの1～2回程度、自施設で透析を施行する必要があります。透析施行の際には、日本透析医会作成の「新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について」^{引用 URL2)}を参考に、空間的あるいは時間的隔離を行い、感染対策の徹底をお願いします。

なお、抗原検査や PCR 検査の陽性が判明した場合、症状の有無にかかわらず、透析患者は入院の対象となります。

個人防護具の着用と環境表面の清掃・消毒の徹底

透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン」^{引用 URL3)}では、平時より穿刺や返血などの手技は、ディスポーザブルガウンまたはプラスチックエプロン、サージカルマスク、ゴーグルあるいはフェイスシールドを着用すること、透析室での器具の清掃および環境表面の消毒には、0.05～0.1%次亜塩素酸ナトリウム、ペルオキシ 一硫酸水素カリウム配合剤、アルコール系消毒薬のいずれかを使用すること、が推奨されています。透析室では平時の感染対策を遵守することが、COVID-19 への感染対策にも繋がりますので、徹底をお願いします。

なお、患者の COVID-19 が判明した場合、発症 2 日前より濃厚接触となります。個人防護具の適切な着用が、濃厚接触者とならないために非常に重要です。

COVID-19 の透析室における感染予防策につきましては、日本透析医会作成の「新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について(第4報改訂版) ～まん延期における透析施設での具体的な感染対策～」^{引用 URL2)}をご参照ください。

各施設におかれましては、今一度、感染対策の見直しおよび徹底をよろしくお願いいたします。

引用 URL:(令和2年8月7日に確認)

1. 帰省や旅行など都道府県をまたいだ移動自粛のお願いと透析施設における注意点(令和2年4月10日)
http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/03_info/doc/20200410_corona_virus_21.pdf
2. 新型コロナウイルス感染症に対する透析施設での対応について(第4報改訂版) ～まん延期における透析施設での具体的な感染対策～
http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/03_info/doc/20200402_corona_virus_15.pdf
3. 透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン(五訂版)
http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/07_manual/doc/20200430_infection%20control_guideline.pdf